

みんなでつくる瀬戸内市の子育て広場 基本構想 (平成29年3月策定)

(会議において指摘のあった箇所の修正について)

1. 基本構想の概要【事業の目的】

修正前	修正後
・子育て広場づくりに、市民自らが参加し、既存の公園等の活用を踏まえ、「子育て広場」の構想について検討し、子育てに温かい地域づくりをめざす。	・子育て広場づくりに、市民自らが参加し、既存の公園等の活用を踏まえ、「子育て広場」の構想について検討し、子育てに温かい地域づくりをめざす。

1. 基本構想の概要

【事業の目的】

- ・子育て広場づくりに、市民自らが参加し、既存の公園等の活用を踏まえ、「子育て広場」の構想について検討し、子育てに温かい地域づくりをめざす。
- ・さらに子育て中の親子を含め、子育て広場の担い手を育成することにより、「安心して子どもを産み、育てることができる地域づくり・人づくり」の基盤をつくる。

「子育て広場」実現に向けて

- ◇人を育てる仕組みや環境を整備する
- ◇人材が育ってきたら、組織化と自立を図る
- ◇合わせて、その人達が必要とし、使える範囲で中期的な課題として公園も整備していく

子育て広場環境整備

- ◇邑久スポーツ公園冒険の森整備
  - ・平成30年度当初予算：邑久スポーツ公園改修基本設計委託料(15,692千円) ⇒ 平成31年度へ繰越(13,748千円)
- ◇ゆめトピア周辺整備
- ◇長船美しい森

人を育てるしくみ

- ◇プレーパークやミニプレーパークの定期開催
- ◇担う人や支える人を育て、つなげ、応援するしくみ

人を育てる環境の整備

- ◇プレーパークやミニプレーパークの定期開催フィールド
  - ・邑久スポーツ公園冒険の森
  - ・図書館・公民館前の芝生広場：屋内との連携＝子どもが遊べる図書館
- ◇子育て広場の「基地」
  - ・ゆめトピア長船：がらくた倉庫、芝生広場、屋内との連携など
- ◇民間や個人との連携
  - ・民有地や田んぼ、畑、果樹園などの活用の検討
- ◇体験した人を増やし、身近なところでやってみたくなる仕掛け
  - ・プレーカーによる「どこでも子育て広場」

【平成29年度の取組】

- ◇子育て広場応援隊養成事業
- ◇子育て広場環境整備

2. こどもひろば事業推進のために

こどもひろば整備担当職員(管理職)の募集

- ◆求める人材
  - ・自治体やNPO法人等において、プレーリーダーとしての経験年数が10年以上で、豊富なマネジメント経験のある者
- ◆求める役割
  - ・「みんなでつくる瀬戸内市こどもひろば(仮称) 基本計画」策定、「こどもひろば」実現(人を育てるしくみづくり、人を育てる環境整備)

- みんなでつくる瀬戸内市こどもひろば(仮称) 基本計画の策定
- ◇ハード事業
    - ・基本的に施設を所管する部署と協議の上施設整備を実施(邑久スポーツ公園冒険の森、ゆめトピア周辺 など)
  - ◇ソフト事業
    - ・「こどもひろば」の定期開催 ・ボランティア養成
    - ・プレーカーによる「どこでもこどもひろば」 など